

児童の安心・安全に関する調査結果のお知らせ

PTAのみならずには、「児童の安心・安全に関する調査」にご協力をいただきありがとうございます。調査数値と今後の対応についてお知らせします。今後の各家庭でのご指導に役立てていただければと思います。

また、7月に実施します、地区別懇談会でも話題にさせていただきますので、ご一読等よろしく願います。

長浜市立湯田小学校PTA
長浜市立湯田小学校

保護者の意見(抜粋)

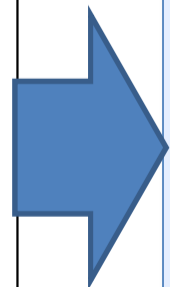
- ・ヘルメットをかぶらないで自転車に乗る子をよく見かける。
- ・決められた通学路を通らず、違うところを下校する子どもを見かける。指導の徹底を。
- ・安全マップが見づらい。・登校マナーが悪すぎる。
- ・安全ボランティアの人にはいつも感謝しています。

児童の安心・安全について

メディアでも、子どもたちの事故や事件等連日報道されています。特に、交通事故や危険箇所での事故については、児童だけでなく保護者、お家の人も、地域のひととの情報の共有が大切です。

特に、危険箇所については、子どもを取り巻くすべての人で情報を共有し、意識を持つが、未然に事故を防ぐことにつながります。「地域の子どもは地域で育てる」と国の方針にも示されていますので、保護者、地域、学校の役割を再認識しながら子どもたちの安心・安全について共に取り組んでいきたいと考えます。

また、先日のセーフティ・クリン作戦では、毎日の通学で子どもたちが危険に感じる道路や注意が必要な箇所の情報を、子どもと保護者で情報を集めてもらいました。今回、それらの情報を一つのマップに落とし込ませていただきました。



現状と課題

- 今回の調査では、子どもの指導に関する意見が多く見られた。
- ・本来ならば、家庭や地域でのルールで解決できる内容のご意見もある。
 - ・地域での安心安全への取り組みが少ない(地域自体のつながりの希薄さ)ための課題も見られる。
 - ・道路の整備や危険箇所の対策など、行政への働きかけも重要。
 - ・などのご意見もあり保護者・地域・学校の連携の重要性を感じる。
 - また、調査の数値を考えると、家庭での危険箇所の共有は約80%と高率となっているが、地域の共有となると数値が30%を切っているため、何らかの手立てが必要と考えます。
 - そのため一つの手段として、安全マップの活用が大事だと考え、保護者への配布だけでなく、自治会への配布も視野に入れながら危険箇所の情報共有を図ってきたい。

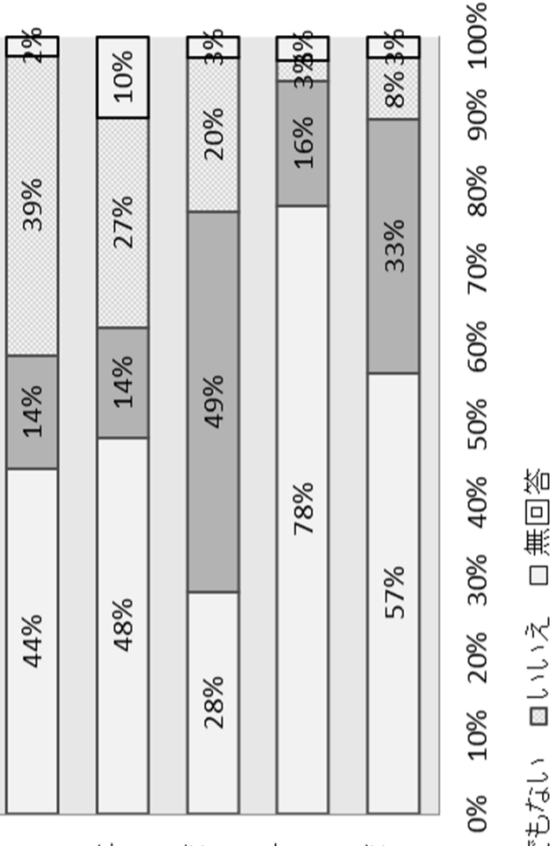
今後の取り組み

児童への危険箇所の指導は、様々な機会を利用して実施している。しかし、すべての危険箇所について子どもたちが理解しているとは言い難いため、保護者との連携が重要と考えます。

そのために、安全マップを各家庭に配布して、家族の皆さんで情報を共有して、日々の指導に役立ててほしいと考えます。

また、セーフティ・クリン作戦で拾いきれなかった箇所については、適宜書き込みなど利用の工夫にも取り組んでいきたい。

危険箇所について、地域の方々との情報共有を促していくため、各種団体と連携して取り組んでいきたい。
→自治会への掲示協力など



□はい ■どちらでもない □いいえ □無回答



今回、一枚の地図に危険箇所のデータと写真を入れて作成しました。お家の見える場所に掲示して、みなさんで情報の共有をお願いします。